

本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校の統合並びに森孝中学校との
併設に関する個別プラン（答申）に係る配慮事項について

1 新しい学校づくり

- ・東西校舎での小学校統合校の開校時及び中学校との併設校の新校舎完成時には、通学先の変更、児童数の増加など環境の変化が生じることから、子どもたちが新しい学校生活に順応していけるよう、交流活動や学校運営の準備など、開校・併設に向けた取り組みを着実に進められたい。
- ・小学校と中学校との併設により期待されるメリットも活かし、「ナゴヤ学びのコンパス」に基づき、「有能な学び手」である子どもたちの成長を育んでいける学校づくりを進められたい。

2 併設校での学校生活における安全

- ・併設校の施設整備にあたっては、国の施設整備の指針や議論を踏まえ、小学校と中学校が同一敷地にある他都市の類似事例等も参考にしながら、子どもたちの安全に十分配慮されたい。
- ・小学生と中学生との心身の発達の差も考慮し、子どもたちがのびのびと安心して学校生活を送ることができるよう、安全に配慮した運用を検討されたい。
- ・運動場の利用については、第2運動場を有効活用することも含め、安全に配慮しながら子どもたちが活動できる環境を確保されたい。

3 通学の安全

- ・子どもたちの安全な登下校のために、警察や土木事務所等の関係行政機関と連携するとともに、保護者、地域、学校と協力して、道路・交通の状況や周辺環境も踏まえながら、交通安全、防犯、熱中症対策等、安全対策に取り組まれたい。

4 施設整備の方向性

- ・子どもたちの安全に十分配慮した施設整備を進めることに加え、「子ども中心の学び」の一層の充実に向けて、個別最適な学びや協働的な学びといった観点にも配慮した学習環境の整備を進めるとともに、健やかな生活空間となるための整備を進められたい。
- ・跡地活用について、関係部局と連携し、施設整備と並行して活用方法を検討されたい。